

三郷町では令和4年度から小中一貫コミュニティ・スクールを導入し、学校と地域の人々（保護者・地域住民）が目標を共有し、ともに知恵を出し合い協働しながら、一体となって地域の子どもたちを育てていくことで、義務教育9年間の子どもの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めています。

この事業は、奈良県学校・地域パートナーシップ事業を活用して取り組んでいます。令和6年度に重点的に取り組んだ課題に応じた目標と評価・分析については以下の通りです。

◆令和6年度に学校・地域パートナーシップ事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	②学校と地域の課題
課題の類型2	学校支援ボランティアの確保・育成
課題の詳細	幅広い項目において学校支援ボランティア活動を実施してきた。高齢化が進み、ボランティア活動等に参加できない方が増えてきた。地域コーディネーターが募集人数を集めるのに苦労する活動もある。
上記課題の解決のために本事業で取り組むこと	・ボランティア活動内容の簡略化を目指し、内容のほか、連絡手段や学校との打ち合わせ等の流れについての「見える化」を図る。 ・併せて、ボランティア活動内容の項目見直しも取り組む。
本事業で達成する目標（アウトカム）	・教職員や地域コーディネーター業務負担の軽減、後継者育成への下地づくり、学校支援ボランティアの登録者の増加を目指す。
目標の達成度を測る指標	ボランティア登録者数
現状の数値	313人
本年度の目標値	325人
本年度の実績値	338人
アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	・学校支援ボランティアの登録者数は、目標値を超えることができた。 ・自治会等を通じた見守りボランティアへの登録が多数を占めた。 ・町の広報誌やFacebookで活動の周知を図った。 ・登録へ繋がる新たな仕掛け（イベント、電子申請等）について、検討する。 ・活動内容の簡略化に向けては、現場のニーズ及び地域住民の思いを把握する必要がある。 ・活動内容の認識の共有やボランティア項目の見直しも併せて取り組みたい。

◆学校支援ボランティアの様子（活動の一部）



子どもたちが楽しみにしている体験活動の様子です。
ボランティアさんからは、活動に参加し子どもたちとの交流は「元気がでる」「活動を続けたい」とのお声をいただいています。